

第3回 8月 センター試験本番レベル模試

酷暑を乗り切った後は、 受験を乗り切るべく、過去問演習にも着手！

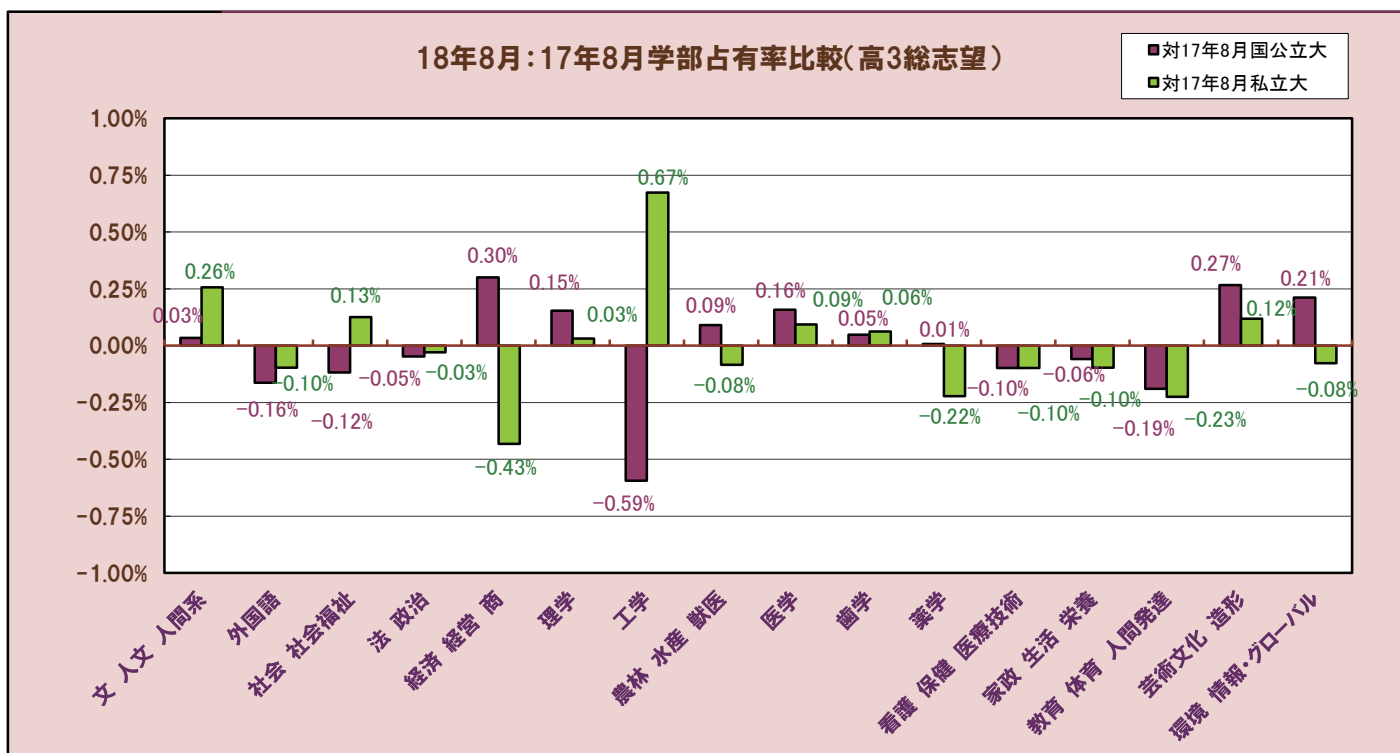
8月26日（日）に実施した「第3回 8月 センター試験本番レベル模試」の高3生の学部系統別の志望動向を、昨年同時期に同模試を受験した先輩の志望動向と比較した。

例年以上に暑い夏の中で乗り切った「受験の天王山」。

この期間の努力は、秋以降の成績の伸びに大きく関わっていき、受験本番までの土台となる。

今後は過去問演習などで実戦的な学習を積みながら、実力養成を行っていきましょう！

【学部系統別占有率昨年比較(設置区分別)】



【学部系統別指数(設置区分別)】*前年度を100とする

系統別名称	国公立指数	私立指数	総合
文・人文・人間系	101	102	101
外国語	105	96	100
社会・社会福祉	102	104	104
法・政治	101	102	101
経済・経営・商	103	102	103
理学	102	103	103
工学	102	107	104
農林・水産・獣医	100	99	100
医学	100	102	102
歯学	105	100	103
薬学	100	96	98
看護・保健・医療技術	101	101	101
家政・生活・栄養	94	99	98
教育・体育・人間発達	98	96	98
芸術文化・造形	92	102	98
環境・情報・グローバル	104	105	105

■国公立大

全体的には「文高理低」の傾向は続いているが、理系の学部系統も情報科学の人気などもあり、下げ止まり感がある。外国語系は東京外国語大学に国際日本学部が新設されることもあり、増加している。

■私立大

私立大も国公立大同様の傾向にあるが、2018年度入試では人気に収束感が見られた医学系に人気の回復が見られる。また、理学系、工学系も回復傾向にある。

環境・情報・グローバル系は、環境系と情報系、特に情報系を中心に志望者が増加しており、グローバル系は頭打ちの状況。

※このデータは、2018年と2017年の「第3回 8月 センター試験本番レベル模試」(2017年度は「第4回」)について、大学の設置区分(国公立・私立)ごとに学部系統別の総志望者数(統一実施日受験の高3生・第6志望まで)から算出した割合を比較したものである。